

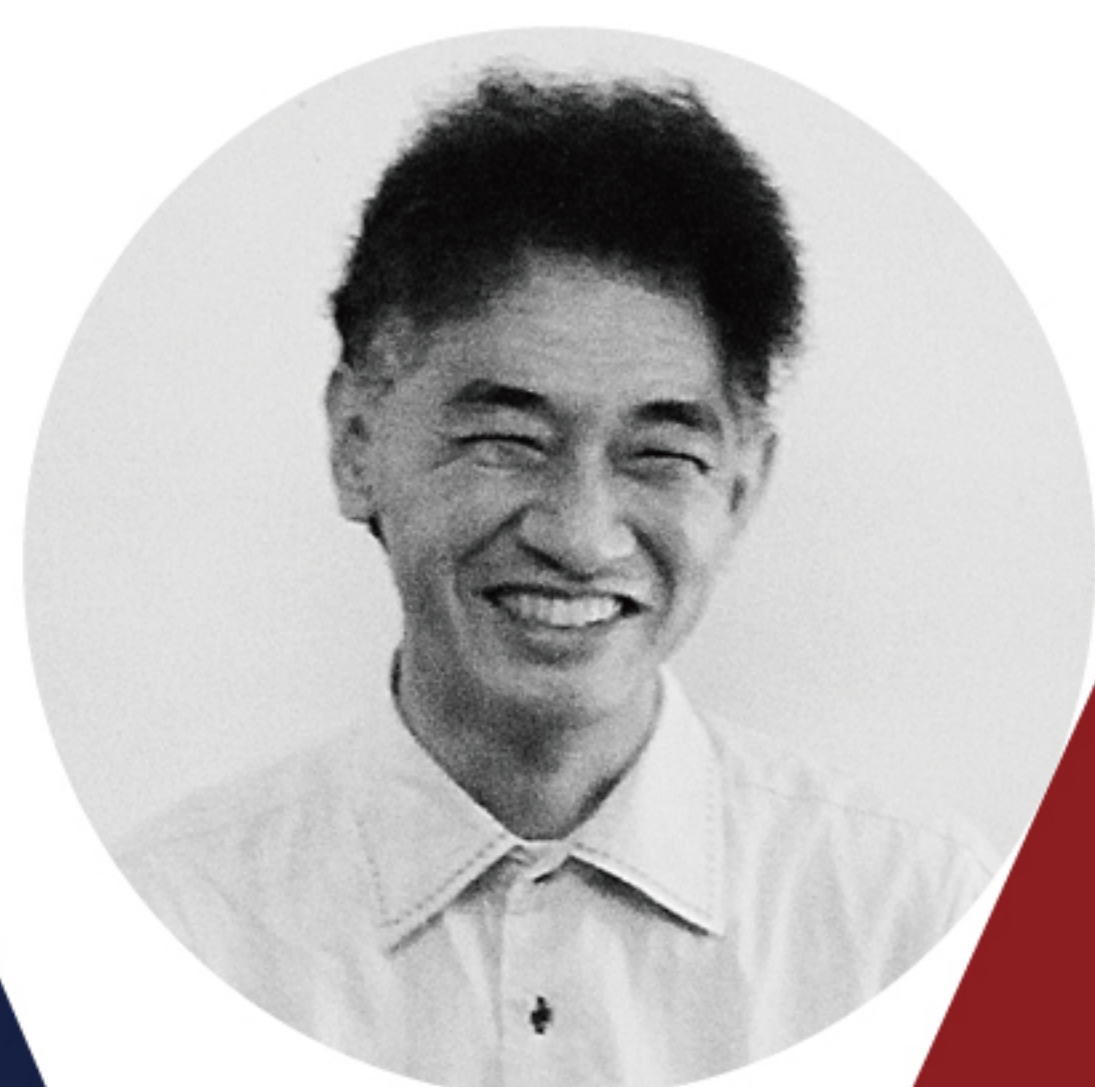
白樺サロンの会～名作、名品、生の世界～

平成 27 年度

志賀直哉旧居特別講座

戦争 と 美術

美術史家 平瀬 礼太 氏



8/17 (月)

14:00 ～ 15:30

開催場所: 志賀直哉旧居
(奈良市高畑町1237-2)

参加費: 500 円
※入館料及び資料代

1930年代～1940年代前半のアジア・太平洋戦争中の美術活動は、長い間空白期と呼ばれていました。統制や節約が声高に叫ばれる世相の中で、美術は贅沢であり、表現は制約を受けたため、そのように呼ばれたということなのでしょう。しかし、実際には、戦前では最も活発な美術活動が展開された時期でした。軍需インフレの影響で停滞気味であった書画骨董の値段は急騰し、展覧会開催も頻繁で観覧者が増加、日本画の新画需要が著しく、激しく値上がりを見せました。戦争画といわれる作品群も多数制作されました。それらを集めた美術展は北から南まで、さらには外地まで驚くべき頻度で巡回し、多数の来観者を集めています。

今回の講演では、そのような戦中の美術の姿を様々な事例を通して紹介し、あらためて戦争の時代に美術はどのような役割を果たしていたのか考える機会としたいと思います。

平成 27 年度

志賀直哉旧居特別講座（白樺サロンの会）

① 5月18日（月） **終了**

「志賀直哉の国語問題とひらがな－文字と文学－」

相愛大学教授 呉谷充利先生

② 6月15日（月） **終了**

「志賀直哉と池田小菊」

奈良女子大学名誉教授 弦巻克二先生

③ 7月20日（月） **終了**

「アルベール・カミュの『異邦人』 アルベール・カミュと『異邦人』」

関西学院大学教授 東浦弘樹先生

④ 8月17日（月） 14：00～15：30

「戦争と美術」

美術史家 平瀬礼太先生

⑤ 9月21日（月） 10：40～12：10

「切手に採用された美術品」

大阪教育大学名誉教授 梁瀬健先生

⑥ 10月19日（月） 10：40～12：10

「時空と生命－相対論と量子論から見える時間と空間－」

山口大学客員教授・相愛大学名誉教授 橋元淳一郎先生

⑦ 11月16日（月） 10：40～12：10

「ヴァージニア・ウルフゆかりの土地 St Ives と Rodmell」

相愛大学准教授 石川玲子先生

⑧ 12月21日（月） 10：40～12：10

「夏目漱石『彼岸過迄』」

奈良女子大学専任講師 吉川仁子先生

受講料 2,000 円（税込） / 全 8 回分

①初回参加時に受け付けます。

②申し込み多数の場合は先着順となります。

③今回（8/17）のみのご参加については
受講料は 500 円です。

お申込み・お問合せ先

学校法人奈良学園セミナーハウス

志賀直哉旧居

TEL/FAX 0742-26-6490

〒631-8301 奈良市高畑町 1237-2

